

比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会 会議録

会議の名称	令和3年度第2回比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会
主な議題	(1)調査結果の概要について (2)今後の調査の方向性について
開催日時	令和4年3月14日(月) 午後1時30分～午後4時00分
開催場所	国指定史跡小倉城跡
会議録の公開 (非公開・一部 非公開)とその 理由	全部公開
出席委員	梅沢太久夫委員、落合義明委員、宮田毅委員、田中信委員
事務局	杉山拓馬生涯学習課主任
オブザーバー	元ときがわ町教育委員会生涯学習課長(文化財担当) 石川安司
記録方法	要点筆記
<p>【審議等内容又は概要】</p> <p>1 開会 杉山主任</p> <p>2 あいさつ 梅沢委員長</p> <p>3 議題</p> <p>(1)調査結果の概要について</p> <p>本会の開催にあたっては現地での確認事項のため、委員長の判断により元ときがわ町教育委員会生涯学習課長の石川さんに説明及び意見を述べて頂くこととしたため、比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会規則第11条の規定に基づきオブザーバー出席を承知いただく。</p> <p>基本層序、検出遺構(柱穴、溝跡、配石遺構)について、事務局より資料に基づき説明を行い、石川さんより補足説明を頂く。</p> <p>(2)今後の調査の方向性について</p> <p>建物跡が検出されたことから建物の構造を把握するために本調査区の調査範囲を広げてはどうかという意見があったが、同じ調査地点から次に進められなくなる恐れがあるため、次年度は予定通り榊形虎口を調査するという事で決まった。</p> <p>また、今回検出された溝跡と配石遺構は性格不明であり、柱穴についても柱間が一般的に考えられるものと若干そぐわないことなどから、このことを念頭に今後の調査を実施していくとともに、同事例が無いかどうか等情報収集にも努めていく。</p> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査区平面図にはグリッドを入れること。 ・埋戻し方法として、柱穴には土のうを入れて、全体を養生シートで覆ってから埋め戻すこと。 	

その他審議会等の長が必要と認めた事項	配布資料（PDF形式） <ul style="list-style-type: none">・次第・現地用図面・柱穴土層断面図（参考図面）
--------------------	---